

「マンスリーレポート 2009年シーズン版開始のご挨拶」

今年、『強化システム』を強化いたします

2月21日(土)、オービックシーガルズは2009年シーズンを開始しました。
今年も引き続き「ライスボウル優勝＝日本一」を目標に掲げ、活動してまいります。
今シーズンも、どうぞ応援くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



オービックシーガルズ GM
並河 研

今年、強化システムを強化する

昨年25周年を迎えたオービックシーガルズ。昨年は、千葉にプロのアメリカンフットボールチームを創設することを目標に再スタートを切る、と宣言させていただきました。昨今の経済情勢や、リーグの状況は決して好ましいものではありません。しかし、そんな時に活動を続けさせていただくチームは“だからこそ、本当

に必要なもの、価値のあるものへと厳しい挑戦を続けることが必要”なのではないかと、私たちは改めて考えています。

そのような考えのもと、今年は「チーム強化」の仕組みそのものを強化すべく、新たな方針、体制を打ち出すこととなりました。

新たな「チーム強化システム」の導入とは…

一言で申し上げますと、チーム強化活動の中心である「選手」に焦点を定め、「選手の質を最大限まで高め、それにより勝利を追求する」仕組みづくりを進めていきます。

そのために、「GM＝強化責任者」とするGM制度を導入し、より組織的な強化の実現を目指すほか、各ポジションコーチが選手のいわば「担任の先生」となり、テクニックの習得、体づくりから環境面の整備等までの責任者となり、選手をサポートする体

制を作ります。

選手の側からみれば、「GM＝環境整備役」とも言えます。コーチ陣の体制づくり、習志野グラウンド及びクラブハウスの整備といった「練習の環境」。トレーニングのサポートや、勤務先への働きかけといった「平日の環境」。選手がより競技に集中できるようにこれらの環境を整備し、週3日グラウンドでの練習が行なえるように努めます。

新世代コーチ、スタッフの組織体制

また、GM体制に加えて、新世代コーチの育成という観点で、今シーズンは、オフェンス、ディフェンスの両コーディネーターが、交代いたします。新生剛士、時本昌樹の両コーチが就き、新たに攻守を組み立てます。

また、オンワードオックスより富永一コーチが加わり、昨年まで選手として活躍した玉ノ井康昌が引退しコーチとなります。

Xリーグが始まって、そろそろ15年。Xリーグのフィールドや日本代表チームで活躍した、新生コーチや時本コーチ、玉ノ井コーチが、新しく指導者層となって、日本のアメ

リカンフットボールの諸先輩コーチに続いてくれることは、競技の伝承と進化に少しでも役に立てるのではないかという思いと、後に続く選手たちのロールモデルにもなるのではないかという期待を感じております。

とはいえ、オービックシーガルズにとっては、久々の新体制。2009年は、非常に楽しみでもあり、何が出てくるかわからないというワクワク感と不安の混じった幕あけとなりました。

選手ともども、倍日の皆様のご指導ご支援を賜りたくお願いする次第です。

【2009年 スタッフ】

GM 並河 研
アシスタントGM 松場 俊夫
ヘッドコーチ 大橋 誠
オフェンス・コーディネーター 兼 アシスタントHC 新生 剛士
ディフェンス・コーディネーター 時本 昌樹
オフェンスコーチ 宮田 耕次
オフェンスコーチ 中村 敏英
オフェンスコーチ 古谷 拓也(選手兼任)
ディフェンスコーチ 加藤 慶
ディフェンスコーチ 富永 一(新任)
ディフェンスコーチ 玉ノ井 康昌(新任)
オフェンスアシスタントコーチ 脇田 雅史
ディフェンスアシスタントコーチ 尾崎 文彰
ヘッドアスレティックトレーナー 吉永 孝徳
アスレティックトレーナー 兼 グラウンドオペレーションリーダー 富樫 司

【2009年 主将/副将】

主将は昨シーズンと同様に古庄選手が務めます。副将には、ディフェンスからケヴィン・ジャクソン、オフェンスから松本喬行選手が就任します。



古庄直樹
主将 #2 LB



ケヴィン・ジャクソン
副将 #11 DL



松本喬行
副将 #50 OL

メインスポンサー

システムインテグレータの **オービック**

オフィシャルスポンサー



オービックシーガルズマンスリーレポート 2月号

発行人/並河 研
編集/渡部滋之
制作・デザイン/高木慶太
文・写真/藤田義生
発行/㈱ OFC
〒104-0061 東京都中央区銀座1-19-16 銀座昭和ビル 3F
Tel.03-3567-1313
Fax.03-3567-1312
http://www.seagulls.jp